

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

小学校学習指導要領「音楽」の目標・内容と音楽の授業との関連について理解するとともに、小学校低学年、中学年、高学年における音楽的発達と教材との関連についてのイメージをもって、主体的・対話的で深い学びを目指す音楽の授業を実施するための基本的な知識・技能を身に付ける。また、音楽教科書を中心に、音楽の授業で扱われる楽曲教材、ICT教材の取り扱いと学びのデザインについて理解し、学習指導案作成の基礎的な知識・技能を身に付ける。さらに、グループによる模擬授業を行い、講師の音楽科教員としての実務経験を生かした授業改善の視点を参考にしながら、効果的な音楽指導の在り方を探求する。

授業計画

第 1 回	授業目標・概要の理解、模擬授業グループの編制
第 2 回	小学校音楽科（学習指導要領）の目標、教科書の内容構成、模擬授業の教材
第 3 回	小学校音楽科（学習指導要領）の表現の内容、教科書の表現教材と学びのデザイン
第 4 回	小学校音楽科（学習指導要領）の鑑賞の内容、教科書の鑑賞教材と学びのデザイン
第 5 回	学習指導案と評価、授業の展開、模擬授業の目標・内容、グループ活動①
第 6 回	音楽の授業例①、学習指導案の構成、グループ活動②
第 7 回	音楽の授業例②、学習指導案の展開過程、グループ活動③
第 8 回	音楽の授業例③、ICT 機器を活用した指導、グループ活動④
第 9 回	学習指導案の作成、グループ活動⑤
第 10 回	学習指導案の再検討、グループ活動⑥
第 11 回	模擬授業及び検討会 1
第 12 回	模擬授業及び検討会 2
第 13 回	模擬授業及び検討会 3
第 14 回	模擬授業及び検討会 4
第 15 回	模擬授業及び検討会 5 まとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

- (1) 小学校音楽科（学習指導要領）の目標、内容、評価と実際の授業との関連について理解している。
- (2) 小学校学習指導要領・音楽の各学年の内容に基づく具体的な学習指導案を作成することができる。
- (3) 学習指導案を基に学習者の状況を想定した授業を実施することができる。
- (4) 音楽授業の事例や模擬授業の体験により、授業改善の視点をもつことができる。

履修上の注意

- ・15回の授業は各々が密接に関連しています。よりよく理解するために、休まないようにしてください。
- ・個人の学びと協働の学びを実践します。チームの一員としての自覚と情報の共有、連絡が必要です。
- ・学習指導案の作成ではパソコンまたはタブレットを用いて作業をします。

予習・復習

- ・学習指導要領・音楽を理解するため、Forms および Teams を活用した課題提出・フィードバックを行います。そのため、毎回、予習・復習が必須です。
- ・グループ活動による模擬授業のための「学びのデザイン」（教材研究）、学習指導案作成では、テキストや配布資料を参照しながら、グループ内で分担した作業を通して予習・復習をします。

評価方法

- ・筆記試験 50%、提出物 20%、模擬授業 20%、授業への参加姿勢 10%

テキスト

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：小学校学習指導要領（平成 29 年告示）
解説 音楽編 ・著者名：文部科学省 ・出版社名：東洋館出版社 ・出版年（ISBN）：9784491034652 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：小学生の音楽 1・2・3 ・著者名：小原光一他 ・出版社名：教育芸術社 ・出版年（ISBN）：9784877888169、176、183 |
|---|---|